

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
21 亀山市	対談項目1 伊勢志摩サミットにおける子どもの活躍の場の創出について	子どもたちが地域で体験や交流を行う場として、亀山市のフィールドを活用することについて	<p>亀山市は、日本の歴史文化や環境と産業の共生などを学ぶことのできる魅力的なフィールドを持っている。未来を担う子どもたちが、県内の地域で体験や交流を行う場として、そのフィールドを活用してほしい。</p> <p>亀山市の子どもだけでなく29市町すべての子どもたちにとっても、世界に目を向けられるよう、活躍の場の創出にご配慮いただきたい。</p> <p>東海道の町並みの保存や、里山公園でのCOP10の体験は、ジュニアサミットのテーマ「環境と持続可能な社会」にぴったりだと思う。ぜひとも候補地として推薦していただきたい。</p>	<p>三重県を5つのブロック（北勢、中勢、伊賀、伊勢志摩、東紀州）に分散して1か所でも多く訪問してほしいと外務省に要望している。提案いただいたフィールドも国と調整していきたい。</p> <p>この10月から高校生以上を対象に外国語ボランティアを募集し始めたので、市内の高校生にも応募してもらえるとありがたい。</p> <p>また、小中学生については市の教育委員会の皆様の協力が得られればだが、G7に関連する給食を学べるようにしたり、中学生は英語のワンペーパーコンテストにサミット特別賞をつくり、サミットを学んで英語で述べてもらう等検討している。</p> <p>1人でも多くの児童・生徒が関与してもらえる取組をしていきたい。</p> <p>市町、市町教育委員会も皆様にはお願いすることもあると思うが、ご協力よろしくお願ひしたい。</p> <p>色々な選択肢をご相談させていただいて、外務省に提案していきたい。</p> <p>三重県では今、「三重まるごと自然体験構想」をつくっており、サミットだけでなく、交流や自然体験にフィールドの活用をしている。貴市におかれても、そのような場所を是非ともそういった情報を教えていただき、提供していければと考える。</p>
亀山市		子どもたちがサミットに関わり、県内各地で活躍できる場を創出するための連携・協働プログラム等の検討について		
亀山市	対談項目2 主要幹線道路の維持管理について (1)市道川崎白木線(旧北勢南部広域農道:フラワーロード)について	県道への移管を含めた今後の対応や連携に関する検討について	<p>市道川崎白木線（フラワーロード）は、平成19年に三重県から移管を受け、現在に至っている。</p> <p>移管後、産業道路の性格が強くなってきており、また東名阪自動車道から多くの通貨交通も近年入ってきている。</p> <p>現在の交通量と求められている性格上、県道への移管を含めて県と市で検討していきたい。</p>	<p>フラワーロードについては、国道306号や県道四日市関線と並走しているため、単独で県道に移管するのは少し難しいかと考える。</p> <p>一方で、供用開始時と比べ、地域の交通状況が変化していることなどから、県と市との役割分担を踏まえたうえで、県道と市道の入れ替えを含めて、貴市をはじめとした関係市と協議をしていきたい。</p>
亀山市	対談項目3 県と市で連携した文化振興事業について (1)亀山市名誉市民「中村晋也氏」の企画展の共同開催について	中村晋也氏に関する県と市の連携・協働した企画展の実施について	<p>県と市で連携・協働して亀山市名誉市民中村晋也氏の企画展を県立文化施設と市立文化施設で共同開催することを提案したい。</p>	<p>彫刻企画展は経費がかかることもあり、県と市だけでなく、より多くの館を巻き込んで、合同開催を実施の方が効果的であり、また平成19年にパラミタミュージアム、平成22年には貴市で開催されたことから、開催時期の検討も要すると考える。これらを踏まえ、県立美術館と貴市と協議していきたい。</p> <p>また、貴市で何か開催する場合には所蔵品をお貸ししたり、ワークショップを行う際には学芸員を派遣したりなどで様々な連携もできるかと考える。</p>
亀山市	追加対談項目 リニア中央新幹線の促進に向けて	リニア中央新幹線の誘致について	<p>リニア中央新幹線の促進については知事にリーダーシップを発揮していただき敬意を払いたい。本市も、停車駅を是非亀山ということで、官民一体となって取り組んできた。</p> <p>今後も期成同盟会と連携しながら、取組をいっそう強化していきたい。リニア中央新幹線の誘致に向けて大事な局面なので、更なるご尽力をお願いしたい。</p>	<p>先般の期成同盟会の会合を受けて、与党幹部及び国交省幹部に要望に行く。リニア中央新幹線のルートと駅について、まだ決定していないため、国からもJRにプレッシャーをかけてもらうようお願いをする。また中間駅については交通結節性の高い場所になるように、変な迂回などしないようにも要望していく。</p> <p>県全体で市町にもご協力いただきながら、しっかり取り組んでいきたい。</p>

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
亀山市	追加対談項目 若者が定住していく地域づくり(教育・子育て支援)について		<p>低体重児の出産が増加してきており、発達過程で障がいに繋がる可能性も高くなっている。</p> <p>母子の保健体制がうまく回るよう、県、市町、医療界、大学等の知恵を結集して、県全域で取り組む必要があるのではないか。</p>	<p>低体重児の数は増えてきており、NICUの整備を進めているところだが、課題は、NICUを出た後の小児在宅、レスパイトをどうするかだと考える。県としては、国の制度を活用して、昨年度桑名市と鈴鹿市をモデルとして、小児在宅の研究体制を整えることになった。医師、福祉、教育など多職種で連携して展開していけるような取組を検討していく。</p> <p>教育面では、児童精神科のあすなろ学園と重度肢体不自由児の皆さんの草の実りハビリテーションセンターを統合して平成29年度中に新しいこども心身医療発達センターを設ける。小児在宅から戻ってきた子どもたちが、重度の複合的な障がいがあったときに、どのような教育・医療を受けたらいいのか等、ノウハウを蓄積していく。</p> <p>あすなろ学園には貴市を含めて、研修にきていただいている。市町で基礎的な部分ではできるようネットワークをつくりながら、より専門的な分野では県が役割を果たせるよう、機能の充実をはかっていきたい。</p>
亀山市	母子保健体制の充実について		母子保健体制の充実に対して県のバックアップをお願いしたい。	県としては、それぞれの地域の実情に応じたサポート体制を検討、議論させていただいて、市町をサポートしていきたい。